

科目名 (英)	Webデザイン概論 I Introduction to Web Design I	必修 選択	必須	年次	1年	担当教員	塩谷 正樹
	学科・コース	情報技術科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間
【実務経験】 Web制作会社、広告代理店、フリーランスとして、20年以上にわたりWeb制作の経験がある。PhotoshopやWeb制作に関する著書もある。							
【授業の学習内容】 Webサイトの分析を通して、各種Webデザインの傾向について調査、研究し、ターゲット層から見るWebデザインについて考察していきます。デザインの関連する基礎知識を学び、コンセプトやキーワードから最適なフォント、配色、ビジュアルなどを選定出来るようにしていきます。教科書の事例を基に公開されているWebサイトの特徴を捉えられるようにデザインの引き出しを増やしていきます。							
【到達目標】 Webサイト分析でサイトの構成、フォントや配色などの仕様を調査できるようになる。 各ジャンルごとのサイトデザインについてトレンドを把握できるようになる。 Webサイトからターゲットユーザーや作り手の意図を考えられるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 「スマートWEBデザイン 脱・自己流のデザイン&データ作成術」 Udemy他、動画教材				【授業外における学習】 専門用語が出てくるので事前学習を行い授業に備える。 授業内で完了しなかった制作物は次回授業までの宿題とします。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 【対面】	【到達目標】 Webサイト分析とデベロッパーツールを理解する。 【授業内容】 Web分析の概要と調査方法について デベロッパーツールの使用方法 拡張機能の利用方法			9	【到達目標】 Webデザインの基本ルールを理解する。② 【授業内容】 タッチ操作について 拡大操作の注意点 レスポンスの媒体について		
2	【到達目標】 Web制作のトレンドを理解する① 【授業内容】 Web制作におけるトレンドをおさえる Web制作のワークフローを理解する マークアップとデザインツールを把握する			10	【到達目標】 Webデザインの基本ルールを理解する。③ 【授業内容】 Webの色表現 操作するためのサイズ レスポンスの媒体について		
3	【到達目標】 Webデザインのトレンドと基礎知識を理解する。① 【授業内容】 Webサイトとアプリの違いを知る ニーズと技術で読み解くトレンド3選をおさえる			11	【到達目標】 Webデザインの基本ルールを理解する。④ 【授業内容】 Webサイトデザインの推奨サイズ 解像度について レスポンスデザインについて		
4	【到達目標】 Webデザインのトレンドと基礎知識を理解する。② 【授業内容】 印刷物とWebデザインの違いを理解する Web制作に必要なツール、デザインアプリの得意分野と選び方を理解する			12	【到達目標】 Webデザインの基本ルールを理解する。⑤ 【授業内容】 グリッドシステムについて フォント関連について		
5	【到達目標】 Webデザインのトレンドと基礎知識を理解する。③ 【授業内容】 一般的なWebサイトの特性を知る ランディングページの特性を理解する			13	【到達目標】 Webデザインの基本ルールを理解する。⑥ 【授業内容】 CSSでの表現 SNSアイコンの使用方法		
6	【到達目標】 Webデザインのトレンドと基礎知識を理解する。④ 【授業内容】 マルチデバイス対応について ビューポートを理解する 画像などのリソースに注意する			14 【対面】	【到達目標】 Webデザインの基本ルールを理解する。 【授業内容】 定期試験 前期内容の理解度を筆記試験で確認する(範囲は別途告知)		
7 【対面】	【到達目標】 Web制作のトレンド及びデザインのトレンドと基礎知識を理解する。 【授業内容】 中間テスト 6回目までの理解度を筆記試験で確認する(範囲は別途告知)			15	【到達目標】 Webデザインの基本ルールを理解する。⑦ 【授業内容】 アクセス解析、title要素、meta要素、alt属性の検討		
8	【到達目標】 Webデザインの基本ルールを理解する。① 【授業内容】 基本の文章構造に合わせた設計 ランドスケープモードの挙動 端末、OS、ブラウザについて			【評価について】 中間試験(20点)、定期試験(80点) 筆記試験、実技試験、レポートのいずれかにより評価する。 ○成績評価 点数 100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 授業の進行状況や理解度によってシラバス内容を一部変更する場合があります。 授業の理解度を図るため小テストを行います。							

科目名 (英)	Web制作概論 I Introduction to Web Development I	必修 選択	必須	年次	1年	担当教員	塩谷 正樹
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜 2限
学科・コース	情報技術科						
【実務経験】 Web制作会社、広告代理店、フリーランスとして、20年以上にわたりWeb制作の経験がある。PhotoshopやWeb制作に関する著書もある。							
【授業の学習内容】 Webディレクションを理解し、制作に関わる様々なポジションの役割について見ていきます。この授業では制作に必要な項目や知識についても学習し、講義形式ではありますが、ディスカッションの場を設けたりし、各々の考えを発表、他者の意見を聞くことで様々な捉え方があることを理解し視野を広げていきます。							
【到達目標】 Webディレクションを理解する。 Webサイト制作に必要な項目や知識について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 「Webディレクションの新・標準ルール」 Udemy他、動画教材				【授業外における学習】 専門用語が出てくるので事前学習を行い授業に備える。 授業内で完了しなかった制作物は次回授業までの宿題とします。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 【対面】	【到達目標】 制作におけるディレクションについて体験する。 【授業内容】 簡単なグループワークを通して、制作の流れについて体験する			9	【到達目標】 企画について理解する② 【授業内容】 受託におけるヒアリング方法		
2	【到達目標】 Web制作とディレクションについて理解する。① 【授業内容】 いまのディレクションに求められる2つの軸 Web制作におけるトレンドと新技術			10	【到達目標】 企画について理解する③ 【授業内容】 企画の発想法とアイデアを練るテクニック ユーザーファーストの本質		
3	【到達目標】 Web制作とディレクションについて理解する。② 【授業内容】 プロジェクトの工程管理とリスクヘッジのあり方 サイトの規模で変わる作業量と「商流」			11	【到達目標】 企画について理解する④ 【授業内容】 UXの設計 UXの可視化する3つの手法、UXを作り出すポイント		
4	【到達目標】 Web制作とディレクションについて理解する。③ 【授業内容】 Webサイトの代表的なパターンと目的 多様な閲覧環境と標準規格への対応			12	【到達目標】 企画について理解する⑤ 【授業内容】 提案書を作る際ののポイント 要件定義とは		
5	【到達目標】 Web制作とディレクションについて理解する。④ 【授業内容】 社内ディレクターの役割と必要なスキル Webサイトのミッションとゴールの確認 内部組織の権限や伝達方法の把握			13	【到達目標】 企画について理解する⑥ 【授業内容】 工数の計算 概算見積りでの作成と工程変更への対応		
6	【到達目標】 Web制作とディレクションについて理解する。⑤ 【授業内容】 事業者と業務委託会社の担当範囲 Cookie規制と個人情報保護の潮流 法令遵守と利用規約、プライバシーポリシー			14 【対面】	【到達目標】 Webサイト制作におけるディレクションの企画を理解する 【授業内容】 定期試験 「企画」についての筆記試験(内容は別途告知)		
7 【対面】	【到達目標】 Webサイト制作におけるディレクションの現状を理解する 【授業内容】 中間試験 「ディレクション」についての筆記試験(内容は別途告知)			15	【到達目標】 Webサイト制作におけるディレクションの企画を理解する 【授業内容】 定期試験の解説と企画関連のワーク		
8	【到達目標】 企画について理解する① 【授業内容】 キックオフミーティングの重要性について 発注者が用意すべき要件とヒアリングシート			【評価について】 中間試験(20点)、定期試験(80点) 筆記試験、実技試験、レポートのいずれかにより評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 授業の進行状況や理解度によってシラバス内容を一部変更する場合があります。 授業の理解度を図るため小テストを行います。							

科目名 (英)	Webコーディング基礎演習 I Web Coding Foundation Practice I	必修 選択	必須	年次	1年	担当教員	塩谷 正樹
		授業 形態	演習	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	前期 月曜 3・4限
学科・コース	情報技術科						
【実務経験】 Web制作会社、広告代理店、フリーランスとして、20年以上にわたりWeb制作の経験がある。PhotoshopやWeb制作に関する著書もある。							
【授業の学習内容】 HTMLとCSSの基本知識について学びます。Webサイト制作でよく使用されるHTMLタグやスタイリングを中心に行っていきます。シングルカラムのレイアウトを通して、1ページの制作を体験し、最適なマークアップとスタイリング方法について理解を深めていきます。							
【到達目標】 Webサイトの基本を理解し、シングルページのコーディングができるようになる。 レスポンス対応のページコーディングができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 「1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座」 Udemy他、動画教材				【授業外における学習】 専門用語が出てくるので事前学習を行い授業に備える。 授業内で完了しなかった制作物は次回授業までの宿題とします。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 【対面】	【到達目標】 Webサイトの基本を理解する Webページ制作を体験する 【授業内容】 ブラウザや制作を始める前の準備項目について HTMLマークアップとCSSスタイリングの体験			9	【到達目標】 CSSの基本を理解する③ 【授業内容】 余白に関するプロパティ、線とリストの装飾		
2	【到達目標】 Webの基本構造を理解する① 【授業内容】 HTMLの基本的な記述方法について ファイル作成やディレクトリの作成、テキスト回りのHTML			10	【到達目標】 CSSの基本を理解する④ 【授業内容】 Flexboxでのレイアウト CSSグリッド		
3	【到達目標】 Webの基本構造を理解する② 【授業内容】 画像のファイル形式と挿入方法について リンク要素について			11	【到達目標】 シングルカラムレイアウトを理解する① 【授業内容】 シングルカラムレイアウト制作の流れ モバイルファーストでの記述について		
4	【到達目標】 Webの基本構造を理解する③ 【授業内容】 リスト表示の練習 表組みの練習			12	【到達目標】 シングルカラムレイアウトを理解する② 【授業内容】 コンテンツ部分の作成 レスポンス対応の記述について		
5	【到達目標】 Webの基本構造を理解する④ 【授業内容】 フォーム要素の記述練習 グループ分け、練習問題			13	【到達目標】 定期試験対策 【授業内容】 HTMLマークアップの練習 CSSスタイリングの練習		
6	【到達目標】 CSSの基本を理解する① 中間試験対策 【授業内容】 CSSの記述方法、CSSファイルの作成方法 リセットCSSについて			14 【対面】	【到達目標】 適切なマークアップとスタイリングが出来るようになる。 【授業内容】 定期試験(実技試験) HTMLマークアップ+CSSスタイリングによるシングルページ制作		
7 【対面】	【到達目標】 Webの基本構造とHTMLマークアップを理解する 【授業内容】 中間テスト(内容は別途告知) 実技試験によるマークアップの理解度確認			15	【到達目標】 適切なマークアップとスタイリングが理解できるようになる。 【授業内容】 定期試験の解説		
8	【到達目標】 CSSの基本を理解する② 【授業内容】 文字や文章の装飾、Webフォント、アイコンフォントについて 背景画像の挿入方法 幅と高さの指定			【評価について】 中間試験(20点)、定期試験(80点) 筆記試験、実技試験、レポートのいずれかにより評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 授業の進行状況や理解度によってシラバス内容を一部変更する場合があります。 授業の理解度を図るため小テストを行います。							

科目名 (英)	Webデザイン演習	必修 選択	必須	年次	1年	担当教員	塩谷 正樹
	Web Design Practice	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 1限
学科・コース	情報技術科						
【実務経験】 Web制作会社、広告代理店、フリーランスとして、20年以上にわたりWeb制作の経験がある。PhotoshopやWeb制作に関する著書もある。							
【授業の学習内容】 レスポンス対応のWebページのデザインやレイアウトについて学びます。Webサイト製作工程の中で主にコーディング前までの内容を中心に授業を行っていきます。一部実装に関する内容もあるため、HTMLやCSSの項目も含まれます。またバナーやヒーローイメージ制作などを通して、コンセプトや目的に沿った画像の選定やレイアウトについても行っていきます。							
【到達目標】 Figmaの基本操作の習得、及びワイヤーフレームからデザインカンプの作成が出来るようになる。 マルチデバイスに対応したWebページのデザインができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 Udemy他、動画教材を使用します。				【授業外における学習】 専門用語が出てくるので事前学習を行い授業に備える。 授業内で完了しなかった制作物は次回授業までの宿題とします。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 【対面】	【到達目標】 基本ツールの使い方を理解する① 【授業内容】 Figmaの基礎知識、各種ツールの設定方法 プロジェクトファイルの作成			9	【到達目標】 Webページのワイヤーフレームが制作できる 【授業内容】 ワイヤーフレームの制作 原稿の生成など		
2	【到達目標】 基本ツールの使い方を理解する② 【授業内容】 各種ツールの基本操作			10	【到達目標】 Desktop版Webページのデザイン制作ができる 【授業内容】 desktopサイズとレイアウトガイドの設定		
3	【到達目標】 基本ツールの使い方を理解する③ 【授業内容】 各種ツールの基本操作 プラグインの設定など			11	【到達目標】 Mobile版Webページのデザイン制作ができる 【授業内容】 mobileサイズとレイアウトガイドの設定		
4	【到達目標】 オートフレームを理解する 【授業内容】 各種オートフレームの設定と特性			12	【到達目標】 コンセプトに基づいたデザインができるようになる 【授業内容】 制作チェックなど		
5	【到達目標】 コンポーネントを理解する 【授業内容】 コンポーネントの作成方法 メインコンポーネントとインスタンス			13 【対面】	【到達目標】 コンセプトに基づいたデザインの発表ができるようになる 【授業内容】 定期試験：デザインページの発表① 作品に対するフィードバック		
6	【到達目標】 バリエーションを理解する 【授業内容】 バリエーションの設定方法 UI KITの使用方法			14 【対面】	【到達目標】 コンセプトに基づいたデザインの発表ができるようになる 【授業内容】 定期試験：デザインページの発表② 作品に対するフィードバック		
7 【対面】	【到達目標】 Figmaでパーツデータを管理出来るようになる 【授業内容】 中間テスト(内容は別途告知)			15	【到達目標】 コンセプトに基づいたデザインができるようになる 【授業内容】 作品のブラッシュアップ		
8	【到達目標】 企画案が作成できるようになる 【授業内容】 テーマに沿った、情報の收拾、構成案 コンセプトボードの作成			【評価について】 中間試験(20点)、定期試験(80点) 筆記試験、実技試験、レポートのいずれかにより評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 授業の進行状況や理解度によってシラバス内容を一部変更する場合があります。 授業の理解度を図るため小テストを行います。							

科目名 (英)	プレゼンテーション Presentation	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	石塚 裕昭
	学科・コース 情報技術科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 2限
【実務経験】 日系・外資系大手企業のマーケティング責任者として米国・日本国内のコンファレンス・展示会・セミナー等で多くのITサービス関連プレゼンテーションを実施。							
【授業の学習内容】 自己紹介・面接から、会議資料発表、技術説明、商品説明、クライアントへの提案、セミナー・イベント登壇など、多くの場で必要となるプレゼンテーションを、如何に相手に正確に伝え、記憶に残り、他のプレゼンテーションよりも印象が深くなるように出来るかを学ぶ。その為にビジュアル・サウンド・プレゼンツールのテクニックを駆使するだけでなく、複数回の演習の場を通して効果的なプレゼンテーションを身に付けていく。							
【到達目標】 効果的なプレゼンテーションを行うために、準備(資料作成・リハーサル)の重要性を理解し、ターゲットオーディエンスに合わせた内容で、決められた時間内に明確なメッセージを効果的に伝える方法を習得する。また、クラス全員のプレゼンテーションを見て・聞いて・評価することで、聞き手としても効果的なプレゼンテーションを学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】 これだけは知っておきたい「プレゼンテーション」の基本と常識				【授業外における学習】 発表するプレゼンテーションの資料作成とその準備活動(情報収集・データ収集など)及びリハーサル。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 【対面】	【到達目標】 シラバスによる全体スケジュール・流れの確認 印象に残る・覚えて貰える自己紹介(前半)			9	【到達目標】 各個人へのフィードバック(前半)		
2	【授業内容】 クラス全員が自己紹介を行う中で、オーディエンスに対して如何に自分の印象を強くし、覚えて貰えるかを工夫し実践する。			10	【授業内容】 演習①、中間テストのフィードバック		
3	【到達目標】 印象に残る・覚えて貰える自己紹介(後半)			11	【到達目標】 各個人へのフィードバック(後半)		
4	【授業内容】 自分の印象を強くし覚えて貰える自己紹介の実践(後半) 講師自己紹介			12	【授業内容】 演習①、中間テストのフィードバック		
5	【到達目標】 プレゼンテーションの基本(教材活用)			13	【到達目標】 プレゼン演習 ② 前半		
6	【授業内容】 アイコンタクト、視覚ノイズ・音声ノイズ・癖の改善、身振り・手振り、聴衆の分析、ホールパート法・PREP法・時系列法、短く・分かりやすく			14	【授業内容】 PowerPointで2分程度のプレゼンテーションを実施。 オーディエンスはプレゼンターを評価。		
7	【到達目標】 プレゼン演習 ① 前半			15	【到達目標】 プレゼン演習 ② 後半		
8	【授業内容】 PowerPointで3分程度のプレゼンテーションを実施。 オーディエンスはプレゼンターを評価。			16	【授業内容】 PowerPointで2分程度のプレゼンテーションを実施。 オーディエンスはプレゼンターを評価。		
9	【到達目標】 プレゼン演習 ① 後半			17	【到達目標】 期末試験：実技(前半)		
10	【授業内容】 PowerPointで3分程度のプレゼンテーションを実施。 オーディエンスはプレゼンターを評価。			18	【授業内容】 効果的なプレゼンテーションの基本筆記試験。 1人2分のプレゼンテーション実技試験。		
11	【到達目標】 プレゼン演習 の振り返り			19	【到達目標】 期末試験：実技(後半)		
12	【授業内容】 プレゼン演習 ①評価のグループディスカッション。 中間テストに向けた効果的なプレゼンテーションの注意点。			20	【授業内容】 1人2分のプレゼンテーション実技試験。		
13	【到達目標】 中間試験：筆記・実技(前半)			21	【到達目標】 振り返りとフィードバック		
14	【授業内容】 効果的なプレゼンテーションの基本筆記試験。 1人2分のプレゼンテーション実技試験。			22	【授業内容】 試験の解説と採点状況、全体の振り返り・フィードバック・総評。		
15	【到達目標】 中間試験：筆記・実技(後半)			【評価について】 中間試験(20点)、定期試験(80点) 筆記試験、実技試験、レポートのいずれかにより評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 初回・最終回・プレゼン発表の会は全員登校、フィードバックの会は対象者を登校とする。							

科目名 (英)	キャリアデザインⅠ Career DesignⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	塚山 大成
学科・コース	情報技術科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 3限
【実務経験】 人材サービス業界や教育業界にて企業マッチングや就職支援に携わる経験を持つ							
【授業の学習内容】 “自分らしさ”を軸にした仕事観を見据えながら、キャリアデザインのフレームワークを用いて、人が社会で生きていく力(社会人基礎力)を高めるとともに、多様な価値観を受容してコミュニケーションを図る双方向授業を行う。発信力と傾聴力を養うため、各回の授業内で個人ワーク・プレゼンテーション・グループワークを行う。							
【到達目標】 仕事をするための気構え・身構え・心構えを身につける。 「自己理解」「他者理解」「自己信頼」を理解して、“自分らしさ”を発見することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 Hand-book of Life Style				【授業外における学習】 コミュニケーションの場にて授業で学んだことを積極的に実践しましょう。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 対面	【到達目標】 “はたらく”ことが理解できる。 【授業内容】 “はたらく”とは何か考えてみよう。			9 対面	【到達目標】 「協働」を理解する① 【授業内容】 「手がかりゲーム」でチームビルディングを体感してみよう。		
2	【到達目標】 “きく”“はなす”のコミュニケーションを理解できる。 【授業内容】 聴き上手の技法を学ぼう。 話し上手の技法を学ぼう。			10 オンライン	【到達目標】 「協働」を理解する② 【授業内容】 「NASAゲーム」でチームビルディングを体感してみよう。		
3	【到達目標】 “よむ”“かく”のコミュニケーションを理解できる。 【授業内容】 読み上手の技法を学ぼう。 書き上手の技法を学ぼう。			11	【到達目標】 業界研究の方法を身につける 【授業内容】 WEB業界を調べよう		
4	【到達目標】 論理的思考力を身につける 【授業内容】 ロジカルシンキングを体験してみよう			12 対面	【到達目標】 WEB業界で働く視点を身につける。 【授業内容】 業界講座		
5	【到達目標】 「自己分析」 自身の“強みや弱み”を認識できる。 【授業内容】 診断ツールを使って、自分を分析してみよう。			13	【到達目標】 キャリアの考え方を理解する。 【授業内容】 キャリアプランシートの作成		
6	【到達目標】 「他者理解」 自己開示をして“認め合う”方法を理解できる。 【授業内容】 生まれ変わりワークを通して、自身の価値観をシェアしよう。			14 対面	【到達目標】 業界と自身を照らし合わせて将来像を明確にすることができる。 【授業内容】 定期試験		
7 対面	【到達目標】 「自己理解」 “自分の考えていること”を理解できる。 【授業内容】 中間試験 偏愛マップを作って、自身の価値観を表現しよう。			15	【到達目標】 お金の必要性を理解する 【授業内容】 金融教育		
8	【到達目標】 多様な働き方に関して理解できる。 【授業内容】 働き方に関して考えてみよう。			【評価について】 中間テスト(第7回): 20% 期末テスト(第14回): 80% ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	Office 基礎 Office Foundations	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	飯島 由香利
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜4限
学科・コース	情報技術科						
【実務経験】							
PCスクールにて20年以上講師として従事。パソコンの基本操作、Microsoft Office、MOS試験対策、ホームページ作成等の講習・実務経験を持つ。離職者職業訓練の講師・事務運営等幅広く業務に係わる。国家資格キャリアコンサルタントを所持。日々の授業やキャリア面談を通じ、受講生の再就職へのサポート経験を持つ。							
【授業の学習内容】							
公共職業訓練のOffice授業を長年担当してきた講師が、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。専門学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用して、Microsoftのコンピュータソフト(Word、Excel、PowerPoint)の基本的な操作を演習を通じて学ぶ。							
【到達目標】							
・Wordで基本的な文書を作成できる。 ・Excelでデータを整理し、適切な表やグラフを作成できる。 ・PowerPointでわかりやすいプレゼンテーション資料を作成できる。 ・情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し正しく活用できる。							
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルのe-learningテキスト				【授業外における学習】 e-learning(インターネット上のテキスト)で次回講義までに不明な操作を確認しておく。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 対面	【到達目標】 (自宅受講者向け)学習に必要なPC環境を整える。 情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し正しく活用できる。 【授業内容】 個人PCセットアップ確認、タイピング、理解度テスト			9	【到達目標】 基本操作「プレゼンテーションソフトの基本操作ができる」 【授業内容】 PowerPoint1 テーマとバリエーション、プレースホルダ、スライド		
2	【到達目標】 基本操作「文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる」 【授業内容】 Word基礎1 ビジネス文書、ページ設定、インデント、箇条書き、均等割付け			10	【到達目標】 表現力を上げる「図形や画像を活用したスライドを作成できる」 【授業内容】 PowerPoint2 画像挿入、ワードアート、テキストボックス、図形作成		
3	【到達目標】 画像や図形「画像や図形を駆使した文書を作成できる」 【授業内容】 Word基礎2 画像挿入、配置・スタイル、テキストボックス、Excelグラフの貼付			11	【到達目標】 動きを付ける「スライドに動きを付け、全てのスライドを完成できる」 【授業内容】 PowerPoint3 画面切り替え効果、アニメーション効果、スライドショー		
4	【到達目標】 表の作成「複雑な表 表を駆使した文書を作ることができる」 【授業内容】 Word基礎3 行・列の挿入、セルの結合、行の高さ・列幅の調整、文字の配置			12	【到達目標】 発表資料を作成しよう、PPの色々な機能が扱える 【授業内容】 PowerPoint_ダイジェスト		
5	【到達目標】 基本操作「企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる」 【授業内容】 1.Excel基本操作 Excelの基本操作_グラフ作成、数式の作成、SUM関数			13	【到達目標】 定期試験対策 【授業内容】 Word1・2・3、Excel1・2・3 問題		
6	【到達目標】 数式と関数基礎「関数を駆使した資料を作成できる」 【授業内容】 2.Excel計算と関数 割合、相対参照と絶対参照、AVERAGE、COUNTIF、シートの操作			14 対面	【到達目標】 文書作成・関数・グラフを駆使した資料を作成できる 【授業内容】 定期試験(Word・Excel予定)		
7 対面	【到達目標】 Wordで指示通り文書作成ができる 【授業内容】 中間試験			15	【到達目標】 文書作成・関数・グラフを駆使した資料を作成できる 【授業内容】 定期試験の解説		
8	【到達目標】 グラフ基礎「グラフを駆使した資料を作成できる」 【授業内容】 3.Excelグラフ グラフの作成編集、目的に応じた様々なグラフ作成			【評価について】 中間試験(20点)、定期試験(80点) 筆記試験、実技試験、レポートのいずれかにより評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 1回目の講義、7回目の中間試験・14回目の定期試験は全員登校してください。 小テストはFormsではなく、講義で使用するe-learning上で実施します							

科目名 (英)	デザイン基礎技法 Fundamental Design Techniques	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	渡辺竜亮
		授業 形態	実習	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	前期 木曜1,2限
【実務経験】 WEBのビジュアルデザイン、UX/UI、情報設計に特化。							
【授業の学習内容】 ■figma, photoshop, illustratorの基本を学ぶ ■作品づくりを通じて基本操作を学ぶ事で習得度の向上を目指す ■デザインの基本を学ぶ							
【到達目標】 ■figma, photoshop, illustratorの、基本操作ができるようになる ■webと紙のデザインの違いを理解する ■デザインの基本を理解する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 対面	【到達目標】 figmaの基本操作ができるようになる 【授業内容】 figmaの基本操作			9	【到達目標】 illustratorでパスの操作ができるようになる 【授業内容】 図形やキャラクターのトレース		
2	【到達目標】 photosopの基本操作ができるようになる 【授業内容】 photosopの基本操作口 みんなでコラージュ作品を作る			10	【到達目標】 illustratorで作品が作れるようになる 【授業内容】 自分の好きなキャラクターや自分のロゴマークを作成する		
3	【到達目標】 photosopで画像合成ができるようになる 【授業内容】 photosopでの画像合成/フォトレタッチ 個々でコラージュ作品を作成する			11	【到達目標】 4原則をつかって名刺のデザインができるようになる 【授業内容】 RGBとCMYK、入稿規定(トリムマークと断切)、画像解像度など デザインの4原則と名刺の作成		
4	【到達目標】 photosopで複数の写真や文字を使ったコラージュができるようになる 【授業内容】 photosopで自分の好きを詰め込んだコラージュ作品の作成			12	【到達目標】 ポストカードが作成できるようになる 【授業内容】 PhotoshopとIllustratorを使った印刷物の作成01		
5	【到達目標】 デザインの4原則が使えるようになる 【授業内容】 文字組のデザインを通じてデザインの4原則を学ぶ			13	【到達目標】 A4チラシが作成できるようになる(期末試験課題) 【授業内容】 PhotoshopとIllustratorを使った印刷物の作成02		
6	【到達目標】 SPのデザインができるようになる 【授業内容】 SPデザインの基本			14 対面	【到達目標】 A4チラシが作成できるようになる(期末試験課題) 【授業内容】 期末試験の作成提出		
7 対面	【到達目標】 PCからSPデザインへの変換を行う 【授業内容】 1限目:課題制作と提出 2限目:期末試験フィードバック			15 対面	【到達目標】 期末試験フィードバック 【授業内容】 期末試験フィードバックとブラッシュアップ		
8	【到達目標】 illustratorの基本操作ができるようになる 【授業内容】 パス、テキスト、塗りと線、色、各種ツール バンケーキイラスト作成			【評価について】 中間試験(20点)、定期試験(80点) 筆記試験、実技試験、レポートのいずれかにより評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	インターネット概論・関連法規 Internet Fundamentals and Legal Framework	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	村島 慎
学科・コース	情報技術科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 3限
【実務経験】 PCスクールサイトのWEB制作チームのリーダーやBtoB向けECショップのWEBディレクターとして、スケジュール管理、デザイン案の指示、ユーザビリティを意識したUI設計などWEB事業に携わる。							
【授業の学習内容】 インターネットの基本構造や技術の仕組みを学び、通信プロトコル、ネットワークアーキテクチャ、セキュリティ対策などの基礎知識を習得する。 また、個人情報保護法、著作権法、電気通信事業法、サイバーセキュリティ関連法規など、インターネットに関連する主要な法律・規制について理解し、適切な利用・運用ができるようになることを目指す。							
【到達目標】 本授業を通じて、インターネットの基本構造や通信技術の仕組みを理解し、IPアドレス、DNS、HTTP/HTTPS、暗号化技術などの基礎知識を説明できるようになる。また、インターネット利用に関する主要な法規を理解し、個人情報保護や著作権、ネットワークセキュリティに関する適切な対応ができるようになることを目標とする。さらに、最新の法改正や国際的な動向を把握し、インターネットの健全な発展に貢献できる知識を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 学生時代に学びたい情報倫理 改訂版 BSCオリジナルテキスト				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 対面	【到達目標】 情報化社会のモラルとセキュリティについて理解し、適切に個人情報 を扱い、モバイル機器の活用ができる 【授業内容】 講義ガイダンス(eラーニングの使い方など) 個人情報とは モバイル機器 メール			9	【到達目標】 IPアドレス、IP関連技術とプロトコル、TCPとUDP 【授業内容】 IPアドレスとは その他のIP関連の技術やプロトコル TCPとUDP		
2	【到達目標】 さまざまなトラブルに逢わないよう、正しく情報を扱うことができる 【授業内容】 デジタル時代の著作権 ネット社会に潜む危険と対策			10	【到達目標】 DNSとSSL/TLS、Webとメール、安全なインターネット通信 【授業内容】 DNSとSSL/TSL Webとメール 安全なインターネット通信 ネットワークまとめ		
3	【到達目標】 安全なWebコミュニケーションができる 【授業内容】 SNSの活用 SNSのデメリット クラウドサービス			11	【到達目標】 セキュリティ脅威の概要を理解できる 【授業内容】 脅威とは 攻撃の種類 マルウェア		
4	【到達目標】 コンピューターの仕組みとインターネット 【授業内容】 コンピューターの仕組みと構成 ネットワーク入門			12	【到達目標】 セキュリティ脆弱性の概要を理解できる 【授業内容】 脆弱性とは 脆弱性の種類		
5	【到達目標】 プロトコルとネットワーク機器、OSI参照モデル、IPアドレスとMACア ドレス 【授業内容】 ネットワークの仕組み プロトコルとネットワーク機器 IPアドレスとMACアドレス			13	【到達目標】 組織としてセキュリティを守る方法を理解できる 【授業内容】 リスク管理とアセスメント セキュリティポリシー 技術的・人的・物理的セキュリティ		
6	【到達目標】 情報倫理について振り返り理解を深めることができる 【授業内容】 資料作成&記述問題 選択問題(試験対策)			14 対面	【到達目標】 セキュリティとネットワークについて正しく理解出来ているか 【授業内容】 ネットワーク定期試験		
7 対面	【到達目標】 情報倫理について正しく理解出来ている 【授業内容】 情報倫理中間試験			15	【到達目標】 SNSのリスクを理解し正しく利用できる 【授業内容】 SNSとは SNSIについて考えよう SNS運用リスクと対策 SNSミッション(機密情報漏洩・顧客信用・炎上)		
8	【到達目標】 ネットワークの構成要素、TCP/IP、MACアドレスとIPアドレス 【授業内容】 ネットワークの構成要素 TCP/IPとは MACアドレスとIPアドレス			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	JavaScript I	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	山本 航大
	JavaScript I	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 1限
学科・コース	情報技術科						
【実務経験】 複数のプログラミング言語を使用した生化学医療機器の開発・保守経験、C++言語を使用したソフトウェアの開発経験がある。							
【授業の学習内容】 JavaScript の基礎的な概念・文法を学習する。知識を応用するには、プログラムの一文一文の意味を理解している必要があるため、JavaScript の1つ1つの文法を丁寧に解説し、ギャップが無く段階的に理解できる授業を行う。加えて、実際に応用を体験する時間として文章問題を解く演習時間を設ける。							
【到達目標】 各回のすべての到達目標について、Web検索や書籍、生成AIを利用しても良いので、理解・納得した状態で使えるようになること。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 【対面】	【到達目標】 JavaScript が何かを知り、実行方法を理解する。 文字列・出力方法を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			9	【到達目標】 反復処理 (for)、break、ブレイクポイントを理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習		
2	【到達目標】 変数宣言・コメント・代入・数値計算を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			10	【到達目標】 反復処理 (for)、break、ブレイクポイントを理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習		
3	【到達目標】 文字列の結合・型・promptを理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			11	【到達目標】 関数の宣言、呼び出し、引数を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習		
4	【到達目標】 等価/関係 演算子を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			12	【到達目標】 関数の宣言、呼び出し、引数を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習		
5	【到達目標】 論理/論理否定 演算子、Numberを理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			13	【到達目標】 今までの授業内容で理解できていなかったところを理解できるようになる。 【授業内容】 期末試験内容の総復習		
6	【到達目標】 条件分岐 (if)を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			14 【対面】	【到達目標】 期末試験 【授業内容】 期末試験		
7 【対面】	【到達目標】 条件分岐 (else, else if)を理解する。 【授業内容】 中間試験、到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			15	【到達目標】 期末試験の振り返り、DOM (HTML内の値の取得、設定、イベント)を試す 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習		
8	【到達目標】 条件分岐 (else, else if)を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			【評価について】 中間試験 (20点)、定期試験 (80点) 筆記試験、実技試験、レポートのいずれかにより評価する。 ○成績評価 点数 100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	プログラミング演習 I Programming Practice I	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	山本 航大
学科・コース	情報技術科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 2限
【実務経験】 複数のプログラミング言語を使用した生化学医療機器の開発・保守経験、C++言語を使用したソフトウェアの開発経験がある。							
【授業の学習内容】 各回の授業の前半では JavaScript の授業の演習を行う。後半では、HTML、CSSの基礎的な内容について、各項目を深く理解できるよう1つ1つ細かく解説を行う。							
【到達目標】 各回のすべての到達目標について、Web検索や書籍、生成AIを利用しても良いので、理解・納得した状態で使えるようになること。							
【使用教科書・教材・参考書】 参考書HTML5&CSS3 標準デザイン講座<flexboxレイアウト/レスポンシブ> (ISBN978-4-79810-5813-6)				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 【対面】	【到達目標】 HTML、CSSを動作させる方法と、各言語の役割を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			9	【到達目標】 CSSの意味、動作方法、構文、継承を理解する。 色指定(名前、hex、rgb、rgba)を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習		
2	【到達目標】 HTMLの要素、属性、入れ子構造、head、body の役割を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			10	【到達目標】 CSSの単位、コメント、background-color、color を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習		
3	【到達目標】 HTMLの意味を理解し、見出しや段落を使える。 リストと主要な構造要素を使える。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			11	【到達目標】 margin、padding、border を理解する。 width、height、中央揃えを理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習		
4	【到達目標】 br、strong、small、img を適切に使えるようになり、相対パスを理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			12	【到達目標】 font-size、text-align、line-height を理解する。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習		
5	【到達目標】 a の外部リンク、内部リンク、ページ内リンクを使えるようになる。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			13	【到達目標】 今までの授業内容で理解できていなかったところを理解できるようになる。 【授業内容】 期末試験内容の総復習		
6	【到達目標】 複数ページのウェブサイトを作成できる。 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			14 【対面】	【到達目標】 期末試験 【授業内容】 期末試験		
7 【対面】	【到達目標】 テキスト原稿から、今まで学習した内容のHTMLのマークアップをできるようにする 【授業内容】 中間試験、到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			15	【到達目標】 期末試験の振り返り、疑似クラス・CSSアニメーション 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習		
8	【到達目標】 デザインカンパから、1～5回までで学習した内容のHTMLのマークアップをできるようにする 【授業内容】 到達目標のそれぞれの内容の説明、実践演習			【評価について】 中間試験(20点)、定期試験(80点) 筆記試験、実技試験、レポートのいずれかにより評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	プロジェクト実習 I Project Practice I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	渡辺竜亮
		授業 形態	実習	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	前期 金曜3,4限
【実務経験】 WEBのビジュアルデザイン、UX/IU、情報設計に特化。							
【授業の学習内容】 ■ビジュアルデザイン領域の実習を重点的に行う。質よりも量を重視する事で制作経験の蓄積を図る。 ■講師自身も生徒と共にライブで制作し、見てもらう事で実際の仕事現場での品質やスピード、考え方などを学ぶ。 ■作品の添削や生徒個別へのFBをする事で品質の向上や気づきを与える。							
【到達目標】 ■デザインの楽しさを経験する ■講師の作業をライブで見ることで現場感を感じてもらう。 ■数多く制作する事でデザイン制作の経験値を上げる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 対面	【到達目標】 figmaでの写真と文字の扱いができるようになる 【授業内容】 キービジュアルを作成する01 提供された素材を用いてWEBサイトのキービジュアルを作成する			9	【到達目標】 アパレルサイトデザインができるようになる01 【授業内容】 アパレルサイトデザイン作成01		
2	【到達目標】 キービジュアルを作成することができるようになる 【授業内容】 キービジュアルを作成する02 提供された素材を用いてWEBサイトのキービジュアルを作成する			10	【到達目標】 アパレルサイトデザインができるようになる02 【授業内容】 アパレルサイトデザイン作成02		
3	【到達目標】 デザインに見合う写真選定ができるようになる 【授業内容】 与えられたテーマに沿ったWEBサイトのキービジュアルを作成する。 写真素材の提供はなし			11	【到達目標】 和菓子屋さんサイトデザインができるようになる01 【授業内容】 和菓子屋さんサイトデザイン作成01		
4	【到達目標】 与えられた素材とWFでWEBデザインが作成できるようになる 【授業内容】 カフェサイトの作成/パン屋さんサイト作成 与えられた素材とWFでWEBデザインを作成する01			12	【到達目標】 和菓子屋さんサイトデザインができるようになる02 【授業内容】 和菓子屋さんサイトデザイン作成02		
5	【到達目標】 与えられたWFだけでWEBデザインができるようになる01 【授業内容】 リゾートホテルサイト作成01(中間課題作成)			13	【到達目標】 ウェディングサイトデザインができるようになる01(期末試験課題) 【授業内容】 ウェディングサイトデザイン作成01		
6	【到達目標】 与えられたWFだけでWEBデザインができるようになる02 【授業内容】 リゾートホテルサイトデザイン作成02(中間課題作成)			14 対面	【到達目標】 ウェディングサイトデザインができるようになる02(期末試験課題) 【授業内容】 期末試験の作成提出		
7 対面	【到達目標】 中間試験提出(対面授業) 【授業内容】 1限目: 中間試験フィードバック 2限目: インテリアショップサイトデザイン作成01			15 対面	【到達目標】 期末試験フィードバック 【授業内容】 期末試験フィードバックとブラッシュアップ		
8	【到達目標】 インテリアショップサイトデザインができるようになる02 【授業内容】 インテリアショップサイトデザイン作成02			【評価について】 中間試験(20点)、定期試験(80点) 筆記試験、実技試験、レポートのいずれかにより評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							